

十条武田リハビリテーション病院

痛風専門外来のご案内

救急告示病院

医療法人財団 医道会

十条武田リハビリテーション病院 発行

京都市南区吉祥院八反田町32

TEL : 075-671-2351 (代表)

FAX : 075-671-2961

理念

思いやりの心
地域社会の信頼
職員相互の信頼

基本方針

ブリッジ・ザ・ギャップス
患者さんの権利の尊重
信頼の医療に向けて
地球にやさしい環境づくり

環境方針

省資源・省エネルギーの推進
廃棄物の減量化
リサイクルの推進
安全性・快適性の推進
環境広報活動の推進

■平成27年4月より痛風専門外来を行っております

突如働き盛りの男性を襲う痛風発作と呼ばれる関節の激痛。

初期の対応を誤ると痛風発作の炎症は慢性化して、責任ある仕事を中断せざるを得なくなり、個人的にも社会的にも大きな損失となります。

治療しているはずなのに発作を繰り返す方はいませんか？

適切な治療や服薬・生活指導で、痛風は起こらなくすることが可能な病気です。

また、痛風を起こす原因である高尿酸血症が持続すれば、尿路結石・痛風腎など腎機能障害のリスクであるだけでなく、最近では高血圧や心血管イベントなど血管内皮障害（脳梗塞・心筋梗塞）のリスクと言われてきています。

痛風や高尿酸血症は放置すると実は怖い病気なのです。痛風発作はこういった隠れた怖い病気に気づき、それらを予防するきっかけになるかもしれません。

その場しのぎの発作治療ではなく、無理なく「痛風発作をおこらなくする」、「発作を起こさず安全に尿酸を目標値まで下げていく」マネジメントは可能です。

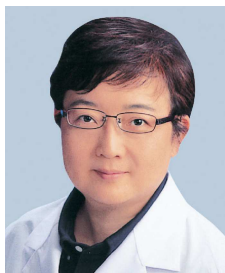
当科では初診時に関節エコーを用いて患者さんに病態の理解をしていただき、治療の継続の必要性を説明しています。

発作を頻繁に繰り返す方、発作が重積する方、内臓障害のリスクもある尿酸値コントロールがうまくいかない方、健康診断で尿酸が高いと言われて心配な方など、ご紹介ください。

(文責：日本痛風核酸代謝学会評議員・認定痛風医・「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」第3版作成委員、日本リウマチ学会指導医・専門医、日本整形外科学会専門医
十条武田リハビリテーション病院 リウマチ科部長 益田郁子)

■医師紹介

痛風専門外来 担当医



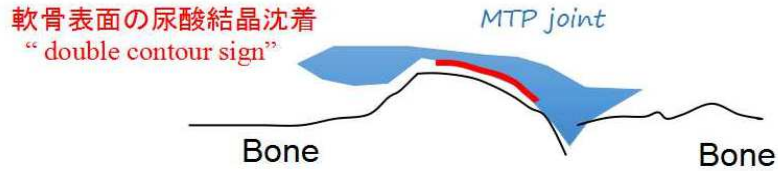
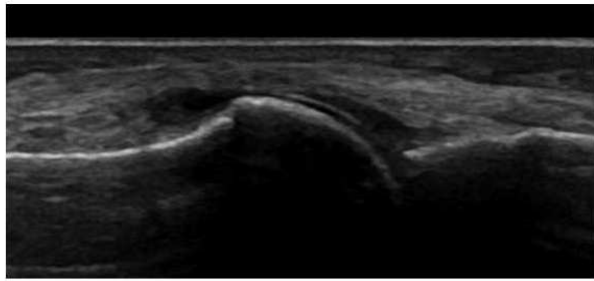
リウマチ科 部長
益田 郁子
(ますだ いくこ)

日本痛風核酸代謝学会 認定痛風医
日本リウマチ学会専門医・指導医
日本整形外科学会専門医

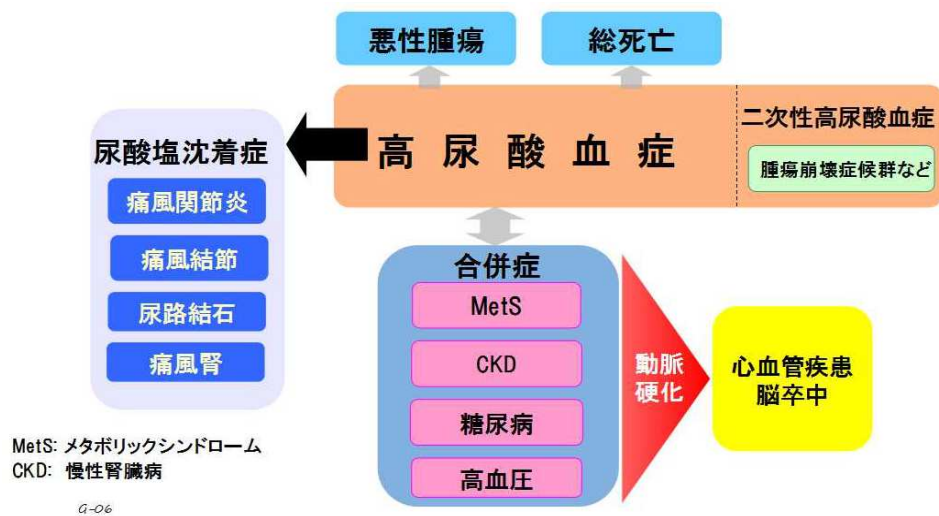


■ 痛風の関節エコー所見

(double contour sign)



■ 本当は怖い高尿酸血症のリスク



診療担当医表

★リウマチ外来枠でも痛風診察可能です

診療時間 (受付時間)	診察時間と担当週	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00 (8:30~12:00)	午前	-	★リウマチ外来(予約) 益田	-	-	★リウマチ外来(予約) 益田	-
13:00~16:00 (12:00~16:00)	午後	-	-	★リウマチ外来(予約) 益田	-	-	-
17:30~20:00 (16:30~20:00)	夜診	-	-	第2・第4週 益田	-	-	-

【連絡先】

十条武田リハビリテーション病院 地域医療連携室

TEL:075-671-2523(直通)

FAX:075-671-2654(直通)

【受付時間】

月～土曜日:午前8時30分～午後5時(祝日は除く)

(Email):renkei-j@takedahp.or.jp

(URL)http://www.takedahp.or.jp/jujo/

地域医療連携室

室長 小畑 慶朗 ・ 看護師長 下坂 るみ子
 課長代理 桧垣 大介
 社会福祉士 川邊 信子 ・ 社会福祉士 辻 真紀子
 社会福祉士 高橋 伸明 ・ 社会福祉士 石徹白 絵美
 社会福祉士 本城 琢也 ・ 社会福祉士 佐々木 礼

アクセス



【交通のご案内】

※京都駅から巡回シャトル便あり(無料)

- ・JR線「西大路」駅から東へ徒歩15分
- ・市バス「羅城門」バス停を南へ徒歩7分
- ・近鉄線「十条」駅から西へ徒歩15分
- ・市バス「千本十条」バス停から徒歩1分